

## 1. はじめに

渡島体育研究会では、研究主題「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成」を掲げ、子供が「運動の楽しさに触れた」・「がんばれた」・「共に成長した」と感じることができるような体育授業を目指して取り組んでいる。1月27日に第18回渡島体育研究集会を実施。新型コロナ予防対策を徹底し、動画による授業研究方式を採用するなど、コロナ禍において実施可能な研究会の在り方を模索した。コロナ禍で行われた研究集会は、事前に授業の様子を動画に収めて、全体でその動画を視聴して研究協議を行う方法を取った。コロナ禍の中で、渡島支部が進めてきた研究実践について報告する。

## 2. 研究授業

〔小学校〕 七飯町立大沼岳陽学校 教諭：住吉太一 3・4年生「器械運動」跳び箱運動  
(令和4年12月13日実施)

### 1. 授業づくりで意識したこと

- ・ICTの効果的な活用と運動量の確保の両立
- ・子どもたちが主体的に学習できる工夫  
(授業の流れの固定化、場の設定、活動内容)

### 2. 授業の見所①

視点1 運動の楽しさに触れた

- ・楽しく、挑戦しやすい環境の工夫
- ・「フェアプレイ」を合言葉
- ・「技カード」の使用
- ・「サーキット練習」

### 2. 授業の見所②

視点2 がんばれた

- ・自ら挑戦する技を選ぶ
- ・技カードや動画、仲間のアドバイスなどを用いて振り返る
- ・ロイロノートを活用し、単元全体を振り返る
- ・動画を比較し、単元を通してがんばれたことを交流する。
- ・跳び箱の技のポイントを自己評価する

### 2. 授業の見所③

視点3 共に成長した

- ・クロムブックを活用し、動画を取り合い、成果を全体に共有
- ・技カードを活用し、他者評価をする場面を設定
- ・補助の仕方も合わせて指導

〔中学校〕 森町立森中学校 教諭：塩俣綾香 2年生 「器械運動」マット運動  
(令和4年12月13日実施)

### 1. 授業のポイント①

視点1 運動の楽しさに触れた

- ・挑戦しやすい環境の工夫
- ・グルーピングの工夫

### 1. 授業のポイント②

視点2 がんばれた

- ・自ら挑戦する技を選ぶ
- ・試行錯誤できる学習の流れの工夫
- ・動画、仲間のアドバイスなどを用いて振り返る

# 1. 授業のポイント③

## 視点③ 共に成長した

- ・グループを学習の段階で使い分ける
- ・技の出来栄を確認する時間を設ける
- ・ipadの活用



### 3. グループワーク協議内容 (一部抜粋)

#### 【小学校の部グループワーク資料】

	運動の楽しさに触れた
手立て	①楽しく挑戦しやすいような環境の工夫 ②フェアプレイを合言葉に跳び箱特有の運動感覚にせまる学習展開 ③技カードやサーキット練習で楽しく技を習得
成果	①・基礎づくりに繋がる練習になっていた。 ・ステージを上手に使っていた。 ・やわらかい跳び箱を使っていて誰にでもできそう。 ・様々な動きが組み込まれていてよかった。 ・用具が豊富で配置も工夫されていて児童が取り組みやすい環境になっていた。 ・個人練習の時間を設けることで、意欲や主体性に繋がる。 ・各々の活動の場での役割分担が素晴らしい。 ・活動量が多く、楽しさを感じられる。 ・スモールステップで取り組むことができている、目立つのが嫌の子も取り組みやすそう。 ③・レベルチェックがあったことで無理な挑戦をする子がいなかった。
改善点	・上手くできたことや頑張ったことを認める場面があると、技が成功していない子もやりがいを感じられるのではないか。

#### 【中学校の部グループワーク資料】

	運動の楽しさに触れた
手立て	□意欲的に新しい技に挑戦できるようなグルーピングや環境の工夫
成果	・意欲的に取り組んでいた。 ・ほん転技は差が出やすいが、みんながんばっていた。 ・雰囲気良い ・色々なグルーピング◎(今回は体格) ・男女ともに意欲的に参加していた ・グルーピング上手くいっていた→(つながる)何度も挑戦しようとする姿が見られた ・同種目のグループにより、成果を感じられ、楽しさにつながった ・倒立のレベル別がよかった
改善点	・用具の使い方、場の設定、技を行う方向、補助の仕方など、もう少し工夫することで、安全を確保して練習に取り組み、よりマット運動の”楽しさに触れられる” ・壁やセーフティマットで課題に取り組むだけでなく、”補助”の仕方を教えるとより意欲的にできるのでは?→教え合い(共に成長した)にもつながる ・もっと補助倒立をさせてもよいのでは? ・異種目同士のグループ?→運動ができない子をどう救うかを考え→アドバイスをあげることで成功体験!! ・マットを重ねる等の工夫が必要かもしれない